

組合員のみなさま
管理職員のみなさま
職場に働くすべての仲間のみなさま

新年明けましておめでとうございます。
年末からお正月にかけては比較的穏やかな日々で、
ゆっくりした新年を迎えられたことではないでしょうか。



さて昨年を思い返せば、3月の東日本大震災と福島原発の事故では未曾有の犠牲者と被害が発生し、その後7月の新潟・福島豪雨と9月の台風12号・15号でも日本各地に甚大な被害が発生しましたが、私たち地方整備局の組織が救援や復旧で大きな力と役割を發揮した1年でした。

そういった中でも、国の出先機関の原則廃止・地方への移譲の動きは着実に進められつつあり、2014年度中の移管開始を目指して今年の通常国会に法案が提出予定されているなど、いよいよ正念場を迎えようとしています。

一方では、民主党政権となって3人目の総理の野田首相は、年頭の記者会見で「消費税増税に関する与野党協議を呼びかける」考えを示すなど、内閣発足時に掲げた消費税の増税推進姿勢を改めて鮮明にし、「震災の復旧・復興」を口実に、国民にさらなる負担を押し付けようとしています。その露払いの役割として公務員給与の削減を行おうとしていることは明白であるにも関わらず、1月末頃召集予定の通常国会の冒頭での処理を画策するなど予断を許さない状況となっています。

国交管ユニオンは1998年に結成してから今年で14年目を迎えます。結成時は262名だった組合員は600名近い組織となり、無権利状態で当局に意見さえ言うことができなかつた管理職員の権利と利益をまもり発展させる役割を十二分に果たしてきました。

出先機関の廃止と権限の移譲に向けての流れは確実に動いていますが、私たちは国土の保全や国民の安全と安心をまもるのは国の責務だと考え、一昨年来から地方議会への請願行動などを行い、市町村の基礎自治体から多くの賛同の声を頂くなど“応援団の輪”が着実に広がってきています。

今年は解散・総選挙が行われる可能性のある年でもあり、さらに幅広くより多くの地方議会へ私たちの声を届けることが出来れば、“応援団の輪”をもっと広げることが可能な状況と言えます。

これらのユニオン運動に対し、皆さま方のさらなるご理解とご協力を頂くことにより、管理職員の悩みや要求を解決できる力も倍増することとなり、その力を糧に何としても拙速な地方移管論議に歯止めをかけ、組織と処遇も前進させる1年とすることを決意し、2012年の年頭にあたってのごあいさつとさせていただきます。

国土交通省管理職ユニオン 中央執行委員長 岡村昌美

みんなで力を合わせ、
明るい未来を切り開こう



国土交通省
管理職ユニオン

NO. 181
2012. 1. 15

発行
国土交通省管理職
ユニオン
所在地
東京都千代田区霞ヶ
関 2-1-2 中央合同庁
舎 2号館
TEL 03-3509-1138
Eメール
k-union@alpha.ocn.
ne.jp
ホームページ
http://www7.ocn.
ne.jp/~k-union



神奈川二宮町吾妻山公園・菜の花と富士山(坂内撮影)

龍のごとく風雲を巻き起こし、 今年こそ上昇気流に 【年男の抱負・決意】



年男の年頭の抱負

辰年生まれなのでH24(2012)年は年男です。年男でめでたい気がしなくもないですが、むしろ、いよいよ定年との感慨がほぼ100%であるし、定年後の身の処し方に思い惑う年越しです。

などと言いつつ、還暦だから赤いものを着なければと、ユニクロで赤いシャツを買ってもらったりするところが、多少のおめでたい気分です。この歳まで生きてこれて、まあ良かったのかな、と。

ということで、この大きな節目をソフトウェアインテグで迎えられるように準備の一年になるはずですよ。

再任用されるのが一番楽しそうではあるのですが、楽をキーワードに身を処すことが果たして良いことなのかと、そこが惑いどころというわけです。

ともあれ、現時点での健康状態をなるべく長く保ちたいという希望と、思い返してみればいくつもある趣味をほとんどほかに楽しみつづ、仕事では、もう一度必ず経験すると思われる会計検査での無事を祈り、そしてソフトウェアインテグと、これを私の年頭の抱負いたします。

四国 土佐国道

大野 八郎

管理職ユニオンの組合員になって

昭和27年4月の辰年生まれで、国土交通省最後のご奉公の年になってしまいました。

まさか、59才になって管理職昇任(出張所長)し、管理職ユニオンに加入する羽目になるとは思ってもいませんでした。

年男の抱負を書けとのことですが、厳しい世情の中では、管理職のみではなく、職員全体がモチベーションが上がらないことこの上ない中で、昨年の「なでしこジャパン」(ホントに感動しました。でもワンバック選手は凄かったです)にあやかり、雌伏の時を乗り越え要求が前進出来るように、猫の手ならぬ、辰の爪で行動する皆さんにふら下がりながら、微力ではありますが頑張っていきたいと思っております。

東北 青森河川国道

一戸 寿文

年男新年の抱負

5回目の干支を迎えることとなり退職を意識しない訳にはいかない年となりました。

これまで、洪水・地震による堤防決壊・ダム施設災害などに直面して来ましたが、

が、昨年3月11日発生のも東日本震災による北上川河口部の津波災害は、悪夢を見ているような想像を絶する出来事でした。

災害時における緊急対応は、全国からの支援のお陰で何とか被災地域の皆さんのために対応することができました。「国土交通省だからこそできる対応」とあらためて確信しました。

退職まで微力ではありますが、ユニオン及び職場の管理職の皆さんと共に「整備局の移管阻止」のため頑張っていきたいと思っております。

東北 新庄河川事務所

阿部 晴夫

新年、明けましておめでとういねえさあ

今年、5回目の辰年を迎えもうすぐ60歳になることころです。また、定年退職を迎える年齢に達しました。

昨年は災害が多く発生し、多くの職員が被災地に派遣され、国交省の技術力(精神力)を十二分に発揮しました。と同時に職員の思いは「国の出先機関廃止反対署名」に集約されました。(短期間でよう集まったなあ)

最近、ある首長が「大規模災害に対しては、強力な組織が必要。国交省は災害のフロントと改めて痛感し

た」と、我々の行政(安全・安心)は必要である事が立証されています。

皆さん、出先機関確保・増員要求でガンバロー！

ところで、地方分権に関しては地域主権戦略大綱が平成22年6月に閣議決定されており、国の役割を小さくして、地方自治体の活動分野、権限、あるいは裁量範囲を広げようという動きが進んでおり、今年も我々国家公務員にとつては厳しい年になりそうですが、秘めた情熱と志をもって管理職ユニオンの発展に頑張っていきたいと思っております。

近畿 和歌山分会

西川 正也

新年の抱負

1983年(昭和58年)、新採で豊岡に赴任してから、早30年近く経ち、再び、豊岡の地で4回目の年男を迎えるのも何かの縁でしょうか？

(私は、たまたまだと思いますが！)

私が、入所した年は前年度1982年の人勸が完全凍結され、続いて1983年の人勸も値切りされ、国公の労働組合も29分の時間内ストを決定するといった、今思えば、現在の厳しい社会情勢に向かう始まり

の時期だったと思います。その後、1989年、新たなナショナルセンターの設立で日本の労働界も大きな返還を迎え、1990年代ハブルの崩壊後日本経済の低迷が始まりました。

この間の情勢の変化の中で、私たち労働者から見ると、やはり雇用形態が正規雇用から非正規雇用へ転換させられたことが大きな問題だったと感じます。大企業はそろって企業の利益確保の手段として、業績が悪くなればリストラをするのが当然のように行われ、その結果、失業者が増え、ますます不景気となりました。

そのため、現時点でも今後に景気回復の兆しが一向に見えず、ますます将来の生活に対し不安が増大するばかりです。

こんな、暗い情勢ばかり書くと、何も抱負が出来てきませんが、そういう時だからこそ、今の自分に何が出来るのかを見つめる時だと感じます。

とりあえずの抱負としては、身近で一緒に働いている仲間と、事ある毎に酒でも酌み交わしながら、情勢を語り合いたいと思っております。

今後ともよろしくお願ひ

近畿 豊岡分会

木村 佳則